

横山 彰(よこやま あきら) プロフィール

(2021年4月1日現在)

生年月日：1949年3月1日（72歳）

【学 歴】

1972年3月：慶應義塾大学経済学部卒業

1975年3月：慶應義塾大学大学院経済学研究科修士課程修了（経済学修士）

1979年3月：慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学

1992年11月：博士（経済学）学位取得（慶應義塾大学、乙第2536号）

学位論文題目『財政の公共選択分析』

【職 歴】

1979年9月 - 1980年3月：城西大学経済学部助手

1980年4月 - 1983年3月：城西大学経済学部専任講師

1983年4月 - 1991年3月：城西大学経済学部助教授

1991年4月 - 1993年3月：城西大学経済学部教授

1993年4月 - 2019年3月：中央大学総合政策学部教授

1997年4月 - 2019年3月：中央大学大学院総合政策研究科担当教授

2001年11月 - 2005年10月：中央大学大学院総合政策研究科委員長

2005年5月 - 2007年10月：学校法人中央大学選任評議員

2007年11月 - 2009年10月：中央大学総合政策学部長

2007年11月 - 2009年10月：学校法人中央大学理事

2019年3月 - : 一般社団法人総合政策フォーラム代表理事

2019年4月 - : 中央大学名誉教授

2021年4月 - : 日本社会事業大学学長

【主要学会役員歴】

公共選択学会（1996/6-理事）

日本経済政策学会（2001/5-2004/5 会長）

日本財政学会（2013/4-2016/3 代表理事）

【主要学外活動歴】

林野庁「林政審議会」委員（2003/1-2011/1）
財務省「独立行政法人評価委員会」委員（2004/7-2012/7）
内閣府「税制調査会」委員（2006/11-2009/10）
財務省「財務総合政策研究所」特別研究官（2008/4-現在）
環境省「中央環境審議会総合政策部会」・臨時委員（2009/3-2015/2）
東京都「税制調査会」会長（2009/4-2015/3）
総務省「地域の自主性・自立性を高める地方税制度研究会」委員（2011/4-2013/3）
東京都「特別職報酬等審議会」会長（2017/12-2019/11）

【主要著書・論文】

“An Economic Theory of Persuasion,” *Public Choice*, 71(1-2): 101-115, 1991.
『税制と税政：改革かくあるべし』（共著：加藤寛・横山彰）読売新聞社, 1994.
『財政の公共選択分析』東洋経済新報社, 1995.
「ケインズ政策と公共選択」『フィナンシャル・レビュー』（45）: 50-60, 大蔵省財政金融研究所, 1998.
「環境保全と公共選択」『環境保全と公共政策』（石弘光・寺西俊一編）: 9-33, 岩波書店, 2002.
「経済政策と公共選択の新展開：政策の国際的な競争と協調」『経済政策ジャーナル』3(1) [通巻(55)]: 3-17, 日本経済政策学会, 2005.
『温暖化対策と経済成長の制度設計』（共編：横山彰・財務省財務総合政策研究所）勁草書房, 2008.
『現代財政学』（共著：横山彰・馬場義久・堀場勇夫）有斐閣, 2009.
“The Calculus of Consent at Fifty: The Development of Public Choice in Japan,” *Public Choice*, 152(3-4): 345-349, 2012.
“Constitutional Rules of Overlapping Taxation among Multi-Tiered Governments,” *Journal of Public Finance and Public Choice*, 30(1-3): 169-182, 2012.
“Polycentrism, Federalism, and Liberty: A Comparative Systems Perspective,” (with R. E. Wagner), *Journal of Public Finance and Public Choice*, 31(1-3): 179-197, 2013.
『格差対応財政の新展開』（共編著：片桐正俊・御船洋・横山彰）中央大学出版部, 2016.
『日本社会の持続可能性と総合政策』（編著）中央大学出版部, 2019.
「日本の公共選択研究の黎明期と未来」『公共選択』（73）: 102-119, 公共選択学会, 2020.

⇒[履歴および業績一覧](#)